

石川県教育支援センター 平成31年度

やすらぎ金沢通信 4月

☆URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~yasuka>

☆E-mail yasuka@m1.ishikawa-c.ed.jp

☆Tel 076-243-1612 ☆FAX 076-243-1663



4月に入って寒の戻りがあり、続いて花冷えがありと、その寒さには戸惑いましたが、ようやく、さわやかな春の風が心地よく感じる季節となりました。

さて、学校では、いよいよ新学期が始まりました。やすらぎ金沢教室では、学校生活の中で心を傷めたり、不安を抱くなどの生徒一人ひとりに寄り添い、支援をしていきます。今年度も、新スタッフで新たなスタートを切りました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

平成31年度 スタッフ

室長	井波 充洋	(金沢中央高等学校校長)
副室長	鋪村 重成	(" 昼間制教頭)
相談員	藤田 耕造	
指導員	山崎 記英子	研修生 三宅 靖代

ご挨拶

やすらぎ金沢教室 室長 井波 充洋

この度の定期人事異動で金沢中央高等学校長を拝命し、石川県教育支援センターやすらぎ金沢教室の室長も併せて務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

さて、近年のインターネット、携帯、スマートフォンの普及によって、私たちの生活様式は大きく変化しています。子どものみならず大人も情報量の膨大さと内容の多様さに追いついていない状況ではないでしょうか。

情報化の進展が生活を豊かにするという「光」の部分が大きい反面、子ども同士の人間関係の希薄化、相互のコミュニケーション不足、あるいは心身の健康に対する様々な影響などの「影」の部分も否定できないのではないのでしょうか。

やすらぎ金沢教室では、不安や悩みなどで学校に行けなくなった生徒のための居場所を提供し、学校復帰や新たな進路実現に向けての相談や支援を行います。事業の柱となる相談支援事業において、様々な不安や悩みなどのご相談に対応いたしております。

電話相談、来室相談、訪問相談、医療相談の形態で、通室の如何を問わず、相談を希望する生徒、保護者を対象に実施いたしております。相談方法の詳細については、直接お問い合わせいただければ幸いです。

すこしの勇気を持ってやすらぎ金沢教室を活用され、一歩前へ踏み出されてはいかがでしょうか。

医療相談会

☆申込み問い合わせは、やすらぎ金沢教室までお電話下さい。

高校に入学したけれども、なかなか馴染むことができない。進級はしたけれども、新しいクラスで居場所を見つけることができない。これではいけないという思いばかりが募って、登校が辛く感じてしまう。保護者の方々も、お子様の気持ちを受け止めて、どうしていいのかわからない思いを抱えています。そんな時はまず、身近な人に相談しましょう。特に心や身体の不調など専門家のアドバイスが欲しい時、病院へ行くほどではないと思うことはありませんか。そんな時は、「やすらぎ金沢教室」の医療相談会を利用してください。ゆっくりと、時間をかけて悩みを聞いてもらうことで、かなり心の負担が軽減されます。また、医療機関につながる必要がある場合なども、適切なアドバイスがいただけます。気軽にご相談ください。

(生徒・保護者・教員対象)

第1回 5月 9日 (木) 14:00～16:00
第2回 5月16日 (木) "
第3回 5月30日 (木) "
講師 臨床心理士・公認心理師
 柏谷真由美先生(金沢医科大学病院)
会場 やすらぎ金沢教室

今年度も28回開催します。
6月、10月の2回は岡田淳夫先生(松原病院)、他の26回は柏谷真由美先生が担当します。

第1回事例検討・情報交換会

・日時 6月 14日(金) 14:00～16:00

・講師 原田克巳先生(金沢大学准教授)

☆金沢地区高校相談室・県内やすらぎ教室関係者はどなたでも参加できます。
たくさんの参加をお待ちしています。

金沢地区高等学校 相談担当の先生方へ

日頃より、やすらぎ金沢教室にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。さて、昨年度、本教室への年間相談数は835件で、通室生の利用日数は延べ197日(2名)でした。多くの相談件数の中で、通室に至る生徒は少数ですが、通室によって居場所を見つけて心を開き、自分を取り戻してくれる生徒の姿がありました。そして、生徒たちは、在籍する学校に戻れなくとも、ほとんどが自己の方向を見つけ学業に復帰しています。

各校におかれましては、先生方のご努力のもと、生徒への充実した支援をなさっておられますが、相談室へ足を運ぶことができない生徒に対しまして、ぜひ本教室をご紹介ください。